

薬学部の教育理念・目標

【理念】

「ヒトの健康を目指して」の標語のもと、医薬品の創製、医療、健康・環境に関する基礎及び応用の科学を教育、研究すること、並びに「くすり」の専門家として社会的使命を遂行し得る人材の養成を以て社会に貢献する。

【教育目標】

1. 大学教育における基本的教養と専門の基礎となる幅広い知識を修得させ、豊かな人間性と高い倫理観を持つ人材を育成する。
2. 薬学に関する高度の専門的知識を修得させ、薬の専門家として社会に貢献しうる人材を育成する。

薬学部 薬科学科の教育目標

1. 薬学が人間の生命に拘わる学問であることを踏まえ、薬学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、知性を育む。
2. 薬学分野の研究者・技術者に必要な薬学領域全般にわたる基礎的知識と技能を形成する。
3. 研究の現場で実践的な教育を長期的かつ継続的に行い、薬学分野の研究者・技術者としての基盤となる課題発見能力や問題解決能力を形成する。

この教育目標を達成すべく、以下に挙げる3つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

薬学部 薬科学科のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し、

1. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、知性を有する。（研究者・技術者としての心構え）
2. 化学物質の物理的及び化学的性質・生体や環境との関わり、自然が生み出す薬物、及び生体の成り立ちと機能について高度な知識を有する。（薬学の基礎知識）
3. 医薬品の分析法・合成法・作用機序・体内動態についての高度な知識を有し、医薬品の探索から臨床試験に至る創薬過程を包括的に理解している。（医薬品の基礎知識）
4. 薬学・生命科学分野の研究に必要な意欲、基本的知識と技能、及び問題解決能力を有する。（研究能力）
5. 課題発見能力とともに、情報を主体的に収集・活用・発信することができる。（情

報収集・発信能力)

6. グローバルな視点を持ち、研究者・技術者として国際社会並びに地域社会に貢献する能力を有する。(地域・グローバル)

7. 薬学・生命科学の分野で生涯にわたり自己研鑽を続けるとともに、次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。(自己研鑽・教育能力、研究能力)

と認められた者に対し、学士(薬科学)の学位を授与します。

薬学部 薬科学科のカリキュラム・ポリシー

1. 長崎大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、体系的かつ主体的に学修できるようカリキュラムを編成しています。

2. 入門科目では、薬学全般の基本的知識と製薬企業や研究所見学などで研究者・技術者の業務について学びます。

評価は主にレポートによって行います。

3. 専門基礎科目では、物理化学、分析化学、有機化学、生化学など生命科学や医薬品について学ぶ上で必須の基礎知識とともに、薬用植物学、衛生薬学、薬剤学、薬理学など薬学分野で特に重要となる科目の基礎を学びます。さらに、専門基礎実習では各専門分野での研究に必要な考え方、方法、技能を修得します。

評価は主に試験とレポートによって行います。

4. 専門科目では、生命科学の基盤となる知識を深めるとともに、生物有機化学、分子生物学、天然物化学など、医薬品開発に必要な高度な専門的知識を学びます。また、薬物治療、薬物代謝、医療倫理、医薬品情報学など薬学独自の幅広い知識を修得します。

評価は主に試験で行います。

5. 発展的科目の創薬科学では、それまでに身につけてきた知識を基盤として医薬品開発について総合的に学びます。また、科学英語、実験計画法、薬科学特別実習では、英語論文読解、実験計画立案、研究の実践、卒業論文作成、発表を通して論理的思考力、課題発見能力、及び問題解決に向けた計画立案能力を養うことで、総合的に自己研鑽力と研究能力を育成します。

評価は試験、セミナー発表、レポート、卒業論文、プレゼンテーションなどにより多面的に行います。

科目に関する別表（薬学部 薬科学科）

科目等 資質等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として 養われる 資質	生命科学や 医薬品につ いて学ぶ上 で必須の基 礎知識	薬学概論Ⅰ・Ⅱ 教養有機化学 教養生物学Ⅰ・ Ⅱ 教養物理化学			
	研究に必要 な考え方、 方法、技能		薬学基礎実習		
	生命科学や 医薬品に関 する高度な 知識	有機化学 A 薬品分析化学Ⅰ 生化学Ⅰ 有機電子論 生物物理化学 生物有機化学	有機化学 B・C・D 薬品物理化学 薬品分析化学Ⅱ 生化学Ⅱ・Ⅲ	微生物学 放射化学 細胞生物学 分子生物学 天然物化学	
	薬学分野で 特に重要と なる高度な 専門的知識	分子構造解析学 健康薬科学概論	薬用植物学 臨床漢方学 生薬学 薬剤学Ⅰ 衛生薬学Ⅰ 薬学統計学 生理・解剖学Ⅰ 薬理学Ⅰ 臨床医学概論Ⅰ 医療倫理Ⅰ 薬物治療学Ⅰ	生理・解剖学Ⅱ 臨床医学概論Ⅱ 薬理学Ⅱ・Ⅲ 衛生薬学Ⅱ 病原微生物学 細胞生物学 薬剤学Ⅱ・Ⅲ 薬物治療学Ⅱ 化学療法学 医療倫理Ⅱ 医薬品情報学 免疫学 医療薬物代謝学 医薬品評価学 医療コミュニケーション	創薬科学 A・B
	自己研鑽・ 教育能力 研究能力	薬学概論Ⅱ			グローバル・コ ミュニケーショ ンⅠ・Ⅱ 科学英語 実験計画法 薬科学特別実習

薬学部 薬科学科のアドミッション・ポリシー

＜薬科学科（4年制）＞

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・ 専門的な学修に必要な数学と理科の学力が優れている。
- ・ 英語論文の読解・解説をはじめ、グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・ 論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・ 積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- ・ 薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重(特に大きい比重:◎, 大きい比重:○)）

選抜方法等		求める資質等	基礎学力	数学, 理科, 英語の学力	思考能力, 問題 解決能力	自己表現力, 行動力, 関心, 意欲
		(学力の3要素)	(知識・技能)	(知識・技能)	(思考力等)	(思考力等) (主体性等)
一般選抜	前期日程	共通テスト	○	○		
		個別学力検査		◎	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
	後期日程	共通テスト	○	◎		
		個別学力検査		○	○	
		調査書				○
		ペーパー・インタビュー			○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	○	◎			
	推薦書				○	
	調査書				○	
	志望理由書				○	
	面接		○	○	◎	
外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○			
	個別学力検査		◎	○		
	面接			○	◎	